

キッズ・モニターアンケートの概要 「子どもの権利（けんり）と みえこどもの城について」

アンケートの実施結果は以下のとおりでした。
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

概要

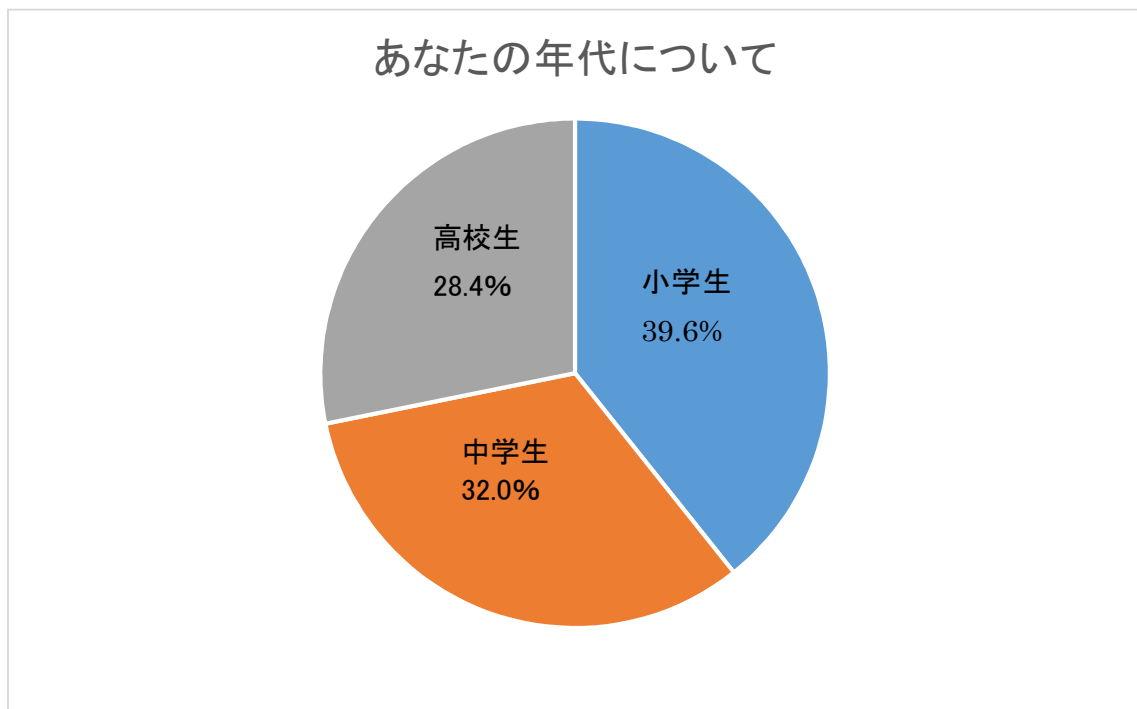
1. 実施期間 令和2年12月7日～12月26日
2. 回答者数 225人
3. 回答率 41%
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査
5. 担当課 子ども・福祉部 少子化対策課

アンケート結果概要

Q1 あなたの年代はどれですか。

【単一回答】

今回答えていただいた方の年代は、下の表のようになりました。



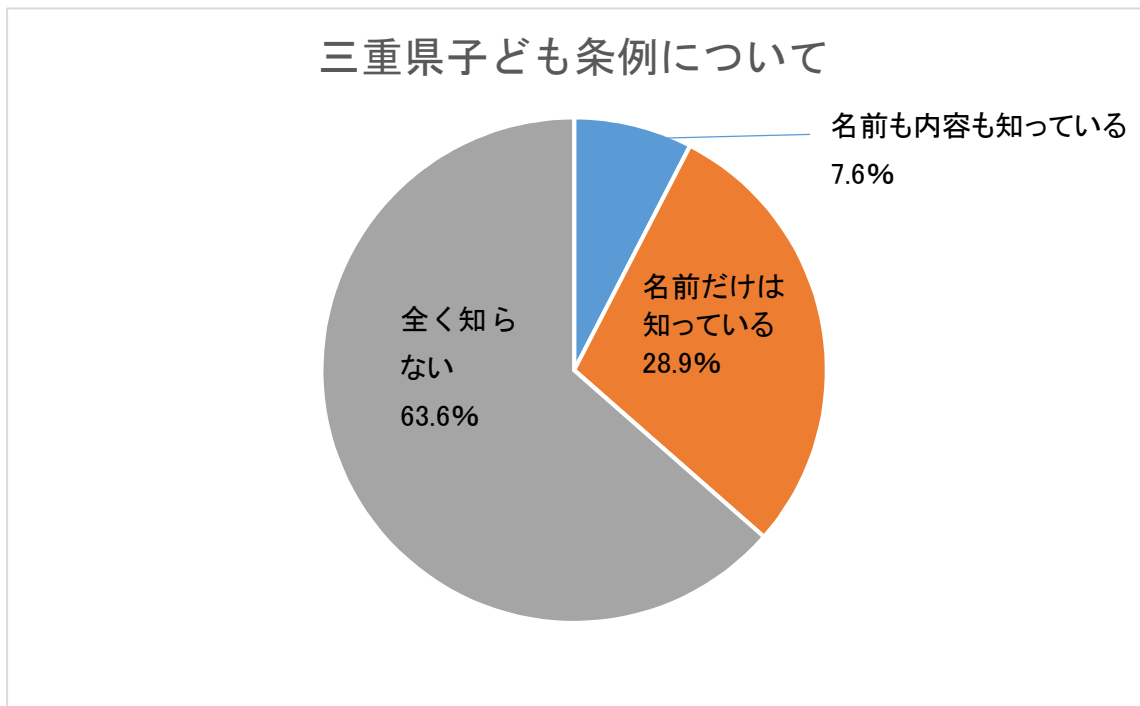
Q2 三重県では、すべての子どもが人として大切にされて生きることができるように子どもの権利について決めた「三重県子ども条例」があります。

あなたは、「三重県子ども条例」のことを知っていますか。

【単一回答】

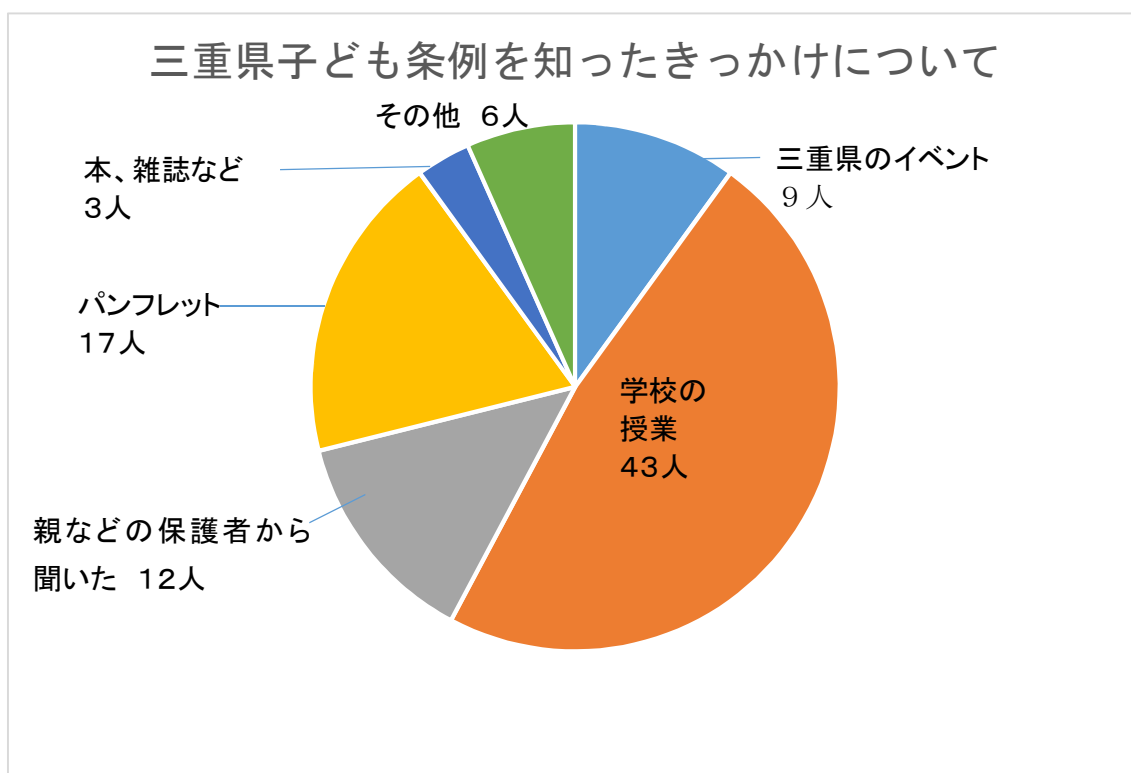
「全く知らない」と回答した人が 63.6%と最も多く、「名前も内容（ないよう）も知っている」「名前だけは知っている」と回答した人を合わせた 36.4%を大きく上回りました。

子どもの権利を守るためには、「三重県子ども条例」がもっと広く知られるよう取り組む必要があります。



Q3 Q2で「1 名前も内容も知っている」「2 名前だけは知っている」と答えた人に聞きます。
あなたが「三重県子ども条例」を知ったきっかけは何ですか。
【複数回答】

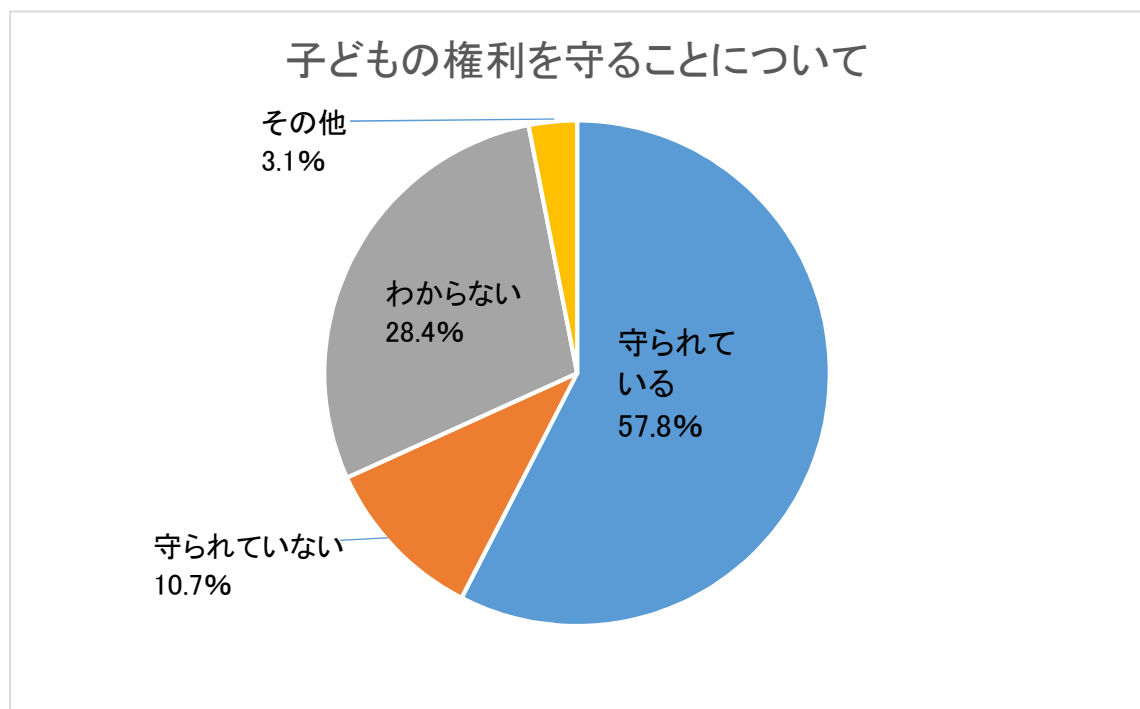
「学校の授業」がもっとも多く43人、次いで「パンフレット」が17人となっています。その他の項目は1割程度か、それ以下となっており、もっと広く子ども条例を知ってもらうためには、学校との連携を進めることが効果的と考えられる結果となりました。



Q4 「三重県子ども条例」には、子どもの権利として次のようなことが決められています。あなたのこうした権利は守られていると感じていますか？ 【単一回答】

- 健康に生まれ、安心して生きられること
- 虐待（ぎゃくたい）やいじめ、暴力、差別から守られること
- 教育を受けたり、休んだり、遊んだりして自分らしく育つこと
- 自分の思いや意見が大切にされること

「守られていると思う」と回答した人が57.8%、「守られていないと思う」と回答した人が10.7%、「わからない」と回答した人が28.4%という結果になりました。

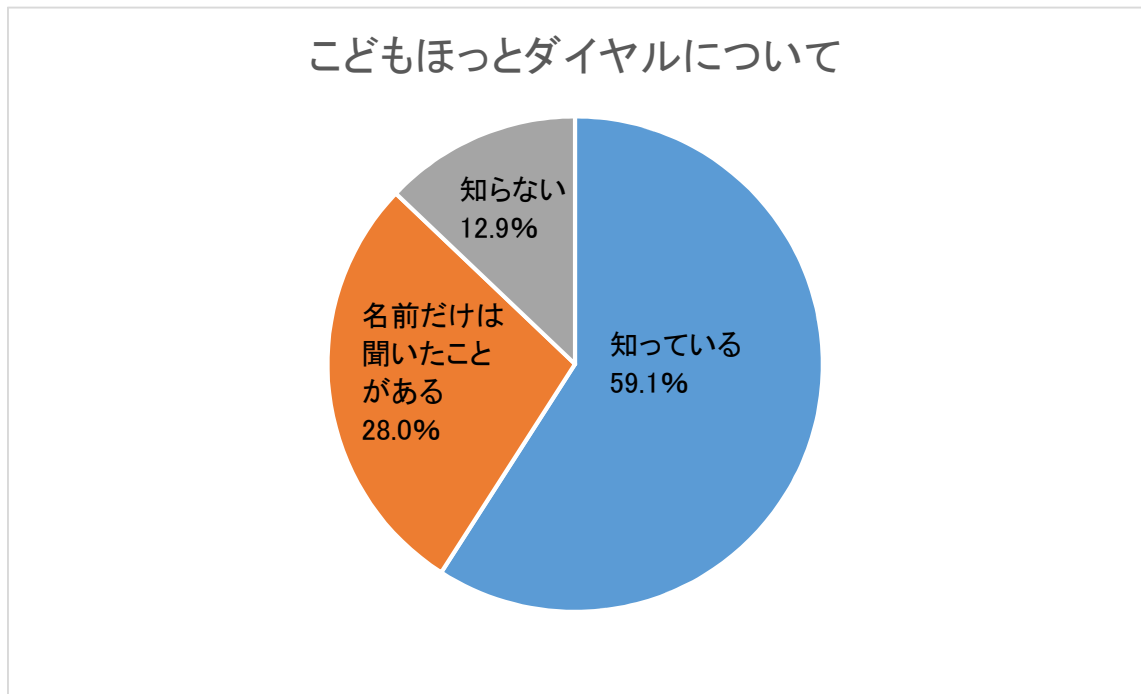


Q5 三重県では、「三重県子ども条例」に決められた子ども専用の相談窓口（そうだんまどぐち）として「こどもほっとダイヤル」を運営しています。

みなさんは、「こどもほっとダイヤル」を知っていますか？

【単一回答】

こどもほっとダイヤルを「知っている」と回答した割合は59.1%、「名前だけは聞いたことがある」と回答した割合は28.0%、「知らない」と回答した割合は12.9%と、多くの人知っているという結果になっています。

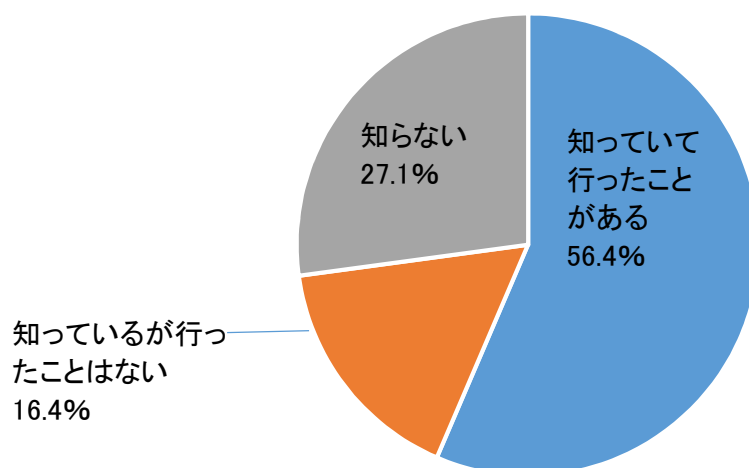


Q6 県では、子どもが安全に遊んだり、さまざまな体験をしたりすることのできる場所として、「三重県立みえこどもの城」（松阪市立野町 1291 松阪市中部台運動公園ない）を運営しています。
あなたは「三重県立こどもの城」のことを知っていますか。

【単一回答】

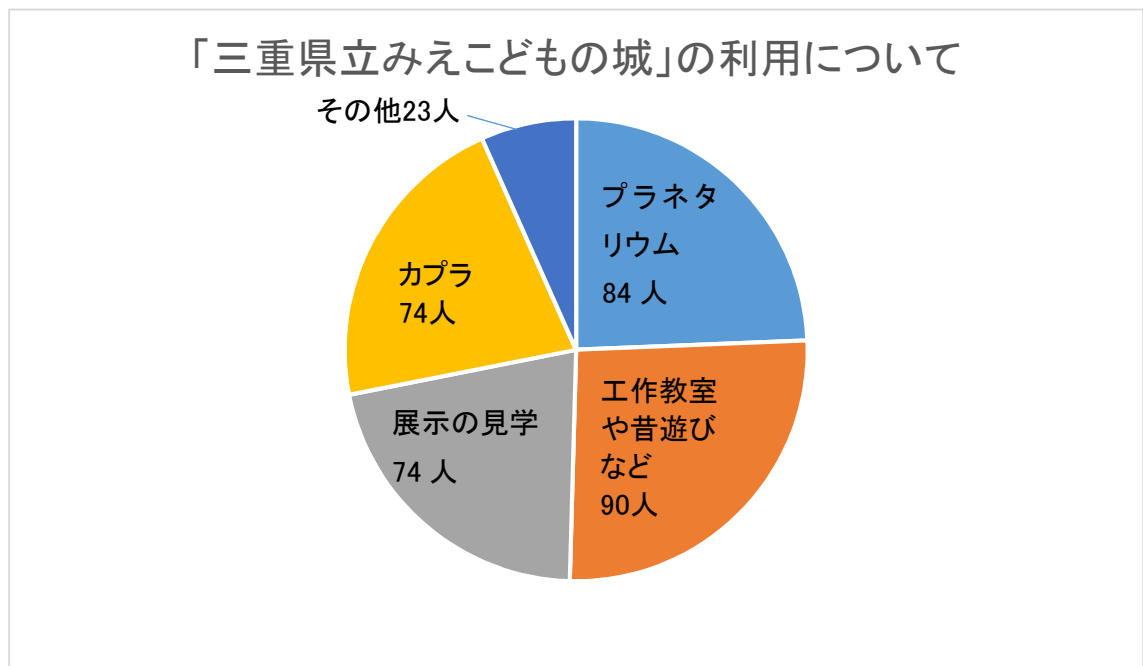
三重県立みえこどもの城のことを「知っていて、行ったこともある」と回答した割合は 56.4%、「知っているが行ったことはない」と回答した割合は 16.4%、「知らない」と回答した割合は 27.1%で、多くの人が三重県立みえこどもの城のことを知っているという結果となりました。

三重県立みえこどもの城について



Q7 「三重県立みえこどもの城」の利用について、これまでに利用した内容はどんなものですか。 【複数回答】

「三重県立みえこどもの城」の利用について、Q6で「知っている行ったこともある」と回答した人に、これまでに利用した内容で当てはまるものすべてを選んでもらったところ、「工作教室や昔遊びなど」と回答した人がもっとも多く90人、「プラネタリウム」と回答した人が84人、「展示の見学」と「カプラ」と回答した人が同数で74人という結果になりました。



Q8 あなたは、「三重県立みえこどもの城」にどのようなものがあると良いと思いますか。
【複数回答】

これからの「三重県立みえこどもの城」に、どのようなものがあると良いと思うか聞いたところ、「子どもの体験活動に役立つ展示やイベント」と回答した人は117人、「科学を学ぶことができる展示」と回答した人が97人、「最新のプラネタリウム」が86人、「県内各地で『みえこどもの城』の遊びや道具を楽しむことができる出張児童館」が68人となりました。また、「今のままでいい」「今やっていることを減らしたり、やめる」と回答した人は少数でした。

